



川崎市立宿河原小学校 第5学年 学年だより 夏休み号 令和6年7月16日

5年生になり、委員会活動も始まり、高学年として考えて動こうとする姿もたくさん見られました。長い夏休みを迎えます。英気を養い、また何かに挑戦する絶好の機会です。安全に気をつけて健康に過ごし、8月27日(火)に会えるのを楽しみにしています。

#### <生活について>

- 夏休みは生活のリズムが乱れがちです。普段どおり、規則正しい生活を心がけてください。
- 自転車や水の事故には十分気をつけ、ルールを守り、安全に生活してください。
- お金の使い方、ゲームや遊びの約束をもう一度確認してください。トラブルが起きたら、お子様が物事に対して判断力を培うチャンスと捉え、お子様と一緒に解決方法を考えてください。

#### <学習用具について>

以下の物を持ち帰ります。点検などをよろしくお願いします。

- 絵の具セット ○道具箱 ○裁縫セット ○音楽バッグ(リコーダー・鍵盤ハーモニカ)  
※中身を確認し、足りないものがありましたら、補充をお願いします。
- 防災頭巾 ※洗濯をしてください。またカバーの補修をお願いします。
- 習字セット ※筆とすずりを洗い、よく乾かしておいてください。筆が傷んでいる場合は、新しいものの用意をお願いいたします。
- OGIGA 端末 ※学習での調べもの等にご活用ください。お子様と約束などを決めて使用することをお勧めいたします。

#### <夏休みの課題について>必ず取り組む課題は(1)～(2)の2つです

##### (1) サマースキル(国語と算数)

夏休みまでの復習のドリルです。計画的に進めます。

丸付け・直しはお手数ですが、保護者の方がしていただくか、子どもと一緒にしていただきますようお願いいたします。

##### (2) 自由課題(1つ以上)

- ・科学作品・社会科作品・読書感想文・絵画作品・工作作品・毛筆作品・手芸 等  
※夏休み明けに作品を廊下に掲示できるように課題に取り組んでください。(例:ギガ端末内のスライドにはまともません。ギガ端末を使ってメモした場合、作品は掲示できるようにノートや画用紙などにまともめます。)
- ・作品カードを渡してありますので、コンクール出品などで指定がないものは作品カードを記入し、貼って提出をお願いします。作品カードの用紙を紛失した場合は、各家庭で作成してください。
- ・模造紙にまとめる人は、ガムテープで裏打ちをお願いします。(次のページも参考にしてください。)

##### (3) GIGA 端末を活用した学習(できれば取り組んでみてください。)

先日学習状況調査の結果を見童に渡しました。その結果から、児童一人一人が苦手とする課題がドリルパークに作成されます。結果の用紙に QR コードがありますので、読み取り、入力後に学習の振り返りや復習で活用してください。

★個別に課題が出る場合もありますので、お子様に確認してください。

<9月の引き落としについて>

9月2日(月)が引き落とし日です。  
残高のご確認をお願いします。

教材費 520円  
校外学習費 11,300円  
合計 11,820円

【内訳】

教材費	糸のこスイスイ	310円
	サマースキル	210円
校外活動費	自然教室	5,300円
	オーケストラ鑑賞	1,500円
	工場見学	4,500円

青少年読書感想文  
全国コンクール  
<高学年課題図書の  
お知らせ>

〇ぼくはうそをついた  
〇ドアのおこうの国へパ  
スポーツ  
〇図書館がくれた宝物  
〇海よ光れ! : 3・11被  
災者を励ました学校新  
聞

<自然教室チェックカード記入のお願い>

8月26日(月)から、自然教室に向けてチェックカードに体温などを記入していただきます。自然教室説明会の資料を再度ご確認ください、用紙を紛失しないようお気を付けください。

<8月27日(火)前期後半開始 > ※朝会があります。4時間授業

[持ち物]

・うわばき ・連絡袋 ・防災頭巾 ・雑巾1枚(無記名) ・ギガ端末・夏休みの宿題(サマースキルと自由研究) ・道具箱(のり、セロテープの補充) \*天候によっては次の日までに持って来てください。

子どもたちから、「自由研究に取り組んでみたいのだけど、どう進めているのかわからない。」という相談があったので、次のように説明しました。

作品の形式(あくまでも例ですがこの順番で書くとすっきりします)

(1) タイトルと名前を書く

(2) 作品を作ったきっかけ(動機) = 調べようと思ったわけ

※この部分は、自分の思いを、作品を見る人に伝える大切な文章ですので丁寧に書いてください。

(3) 調べる方法 聞いたり見たりして・実験して・アンケートをとって など

(4) 調べた結果 調べたこと、研究した結果をどう表すか(資料による)。

①量的なことが分かりやすいようにグラフで表す。(棒グラフ、折れ線グラフなどの活用)

②できるだけ具体的に表す。

★写真や絵、グラフ、地図、実物などがあると楽しく、そして、分かりやすくなります。

③結果について(どんなことがわかったのか)のまとめ

★作品に応じて分かりやすくまとめる。(資料のまとめ)

(5) 考察(まとめた資料からどんなことがわかるか)

調べ、研究し、資料を作って自分なりに分かったこと、考えたことをまとめる。

作品は、ノート、画用紙、模造紙などにまとめると良いでしょう。また、インターネット、参考書、資料集から写したものだけではなく、自分の足で調べてみることが大切です。自由課題に取り組むと、まとめる力が格段にアップしますのでぜひ挑戦してみてください。また、参考文献や引用文については出典元を明記してください。

◎お願い

自由研究を実際に行うためには、保護者の方の手助けが必要になります。外に出かけて調べる内容を含むものがある際は、安全面を考慮してお子さんに付き添ってくださるようお願いいたします。また、まとめる際にも、悩むことが多いと思います。アドバイスやサポートをよろしくお願いいたします。

※模造紙にまとめる場合、社会科作品、科学作品では既定の枚数、貼り方、つなげ方がありますので、学校からのお便り(HPに掲載)をご覧ください。(自由研究参考例も載っています。参考にしてみてください。)